

さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第217号

令和7年1月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会 会長 山口 智

事務所
〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東
TEL 048-645-0416
HPアドレス <https://saitama-harikyu.com>
事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp
(広報委員長) 大谷 尚子
(編集委員長) 阿部 琴美
(広報委員) 岩倉 史

行事予定表

1月
12日(日) 第2回療養費等適正運用研修会
鍼灸普及推進講座
16日(木) オンラインサロン一彩ー
26日(日) 令和6年度第3回学術講習会
(埼玉鍼灸学会主催)
26日(日) 療養費等適正運用個別指導会
2月
20日(木) オンラインサロン一彩ー
23日(日) 療養費等適正運用個別指導会

埼玉県鍼灸師会の活動

オンラインサロン一彩ーの開催

第39回臨床研究会が10月17日(木)に「痛みをネットワークって?共通の病態と脳機能について」のテーマで行われ、茨城県立医療大学医科学センター助教 石山すみれ先生がご自身の研究などのお話をしてくださいました。

第40回臨床研究会が11月21日(木)に「美容医療と美容鍼-私たちの強みとは-」のテーマで行われ、日本メディカル美容鍼協会代表・麻生ハリーク代表 岡本真理先生が美容鍼の特性のお話のみならず、実技も含めてお話くださいました。



石山すみれ先生



岡本真理先生

原島鍼灸接骨院見学会

令和6年10月6日(日)に所沢地区の原島弘和先生の治療院「原島鍼灸接骨院」で見学会を開催し参加者は8名でした。

原島鍼灸接骨院は1年半ほど前に建て替えられた新しい治療院で、外観も内装も清潔感がありました。また、床に配線が散らばらない様に天井から配線されていたり、治療室に西日が当たらないための工夫をしたりなど、詳細に教えていただきました。

さらに治療機器などについて話もあり、実際に腰に痛みがある参加者をモデルにしての腰部への治療の流れについて説明していただきました。

毎日多くの患者さんの来院がある治療院なので、複数の患者さんに施術する方法や時間の配分などのお話しも勉強になりました。



富士見市健康まつり

富士見市健康まつりが2024年10月26日(土)にキラリ富士見マルチホールで開催され、埼玉県鍼灸師会東入間地区先生の田中雪枝先生、朝倉克己先生等による鍼灸の効果等のポスター展示やサンプル等配布を行いました。

(富士見市健康まつりでは、他師会と合同で行っているため、便宜上写真のように「富士見市鍼灸師会」という名称を使っています。)



浦和区健康まつり

浦和区健康まつりが2024年11月3日(日)に開催され、埼玉県鍼灸師会浦和地区が浦和駅西口さくら草通りに鍼灸体験ブースを出展しました。今井幸司先生、小泉智裕先生、長谷川賢司先生、村上悟先生、森山富代先生、加藤政明先生、荻原健太先生、山崎利夫先生他4名で236名の方に鍼灸体験を行いました。



YMCAインターナショナル・チャリティーラン ランナーズケア

2024年11月4日(月・祝)に所沢市航空発祥記念公園で開催されたYMCAインターナショナル・チャリティーランにおいて原澤清一先生、伊東成未先生、吉田章子先生、小笠原荘介先生等が41名のランナーにパイオネックスゼロによるケアを行いました。



みかじま健康まつり

新型コロナの影響で中断していた「みかじま健康まつり」が、2024年11月17日に約5年ぶりに三ヶ島公民館で開催されました。

所沢市の各医療団体、介護事業団体が各ブースに分かれ来場者をお迎えしました。

所沢市鍼灸師会では原澤清一先生、吉田章子先生、小笠原荘介先生、佐藤義則先生、小門愛先生、小川登先生が参加し、55名の方に鍼灸治療に関する相談・体験治療を行いました。

今後も他の医療団体、介護事業団体と協力し、地域医療に貢献していきたいと思っております。



令和6年度 健康まつり、マラソン大会等のボランティアのお知らせ

以下のマラソン大会会場でボランティア施術を行います。会場にお越しの際は、どうぞご利用ください。

- 所沢シティマラソン 西武ドーム内鍼灸師会用救護テント
令和7年2月9日(日) 午前7時30分～午後1時
西武ドーム
- 第1回さいたまマラソン ランナーズケアボランティアブース
令和7年3月16日(日) 午前10時～午後5時
さいたま新都心スーパーアリーナ

オンラインサロン一彩ーのお知らせ

鍼灸の情報交換や技術・知識の研鑽を目的とした『オンラインサロン一彩ー』は研修会・講習会・臨床研究会を開催しております。

臨床研究会の参加方法はzoomによるリアルタイムの参加とFacebook上におけるアーカイブでの受講が可能です。リアルタイムでご参加いただく講師の先生に直接質問することができます。

さらに、東洋療法研修試験財団生涯研修制度2ポイントが取得できます。

オンラインサロン一彩ーの予定

臨床研究会
令和7年1月16日(木) 「筋緊張に及ぼす鍼灸治療の影響」
北海道鍼灸専門学校 副校長 二本松明先生

令和7年2月20日(木) 「難経のススメ」
いわなみ鍼灸院 院長 橋本巖先生

毎月の利用料金 埼玉県鍼灸師会会員及び育成学生 無料
一般学生 500円、一般鍼灸師 1,500円

参加方法 QRコードからご登録ください。

ご質問などがございましたら
saishinkaihari9@gmail.comにご連絡ください。



普及推進講座・第2回療養費等適正運用研修会のお知らせ

令和6年度、普及推進講座・第2回療養費等適正運用研修会を以下の通り開催致します。

※普及推進講座と療養費等適正運用研修会はそれぞれ(公財)東洋療法研修試験財団・生涯教育研修制度認定講習会2ポイントが取得できます。

日時:令和7年1月12日(日) 午後1時開場

場所:大宮ソニックシティ906会議室

(〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL:048-647-4111)

参加費:会員(実務担当者含む)及び育成学生 無料、会員外5,000円
※会員外で参加希望の方は埼玉県鍼灸師会事務所(TEL048-645-0416)までご連絡ください。

※普及推進講座と療養費等適正運用研修会はそれぞれ(公財)東洋療法研修試験財団・生涯教育研修制度認定講習会2ポイントが取得できます。

【普及推進講座】(午後1時30分～午後2時30分)

演題:子どもの発達をサポートする「小児鍼の魅力」

演者:鍼灸院 花小紋 院長 森山富代先生

令和6年度 第2回療養費等適正運用研修会(午後2時45分～午後4時30分)

内容:オンライン資格確認に関して

- ・令和6年10月からの改定に関して

- ・書類記入上の注意

- ・DKシステムに関して

療養費等適正運用研修会は連続して欠席されますと、当会を通じての療養費請求ができなくなりますので、療養費の取扱いがあつて7月の研修会を欠席された先生は必ず出席してください。(会員に限らず実務担当者の方が代理で参加されても有効です)また、研修会当日は「保険取扱い要覧」をご持参いただきますようお願い致します。

令和6年度第1回 埼玉鍼灸学会認定研修C講座(埼玉県鍼灸師会令和6年度第3回学術講習会)のご案内

日時:令和7年1月26日(日) 午後1時～(午後0時30分受付開始)

場所:埼玉医科大学かわぐせクリニック6F(埼玉県川越市脇田本町21-7)

テーマ:「最新のエビデンス&トピックス、そして臨床現場の最前線」

第一部「難治性頭痛に対する漢方・鍼灸治療」 午後1時～

テーマ「難治性頭痛に対する東洋医学的アプローチ」

漢方:埼玉医科大学 東洋医学科 光藤尚先生

鍼灸:日本鍼灸理療専門学校 菊池友和先生

第二部「小侯浩先生追悼シンポジウム」 午後3時30分～

テーマ「臨床で得られた知見を研究に活かす」

①「頭痛に対する鍼灸治療」

埼玉医科大学 東洋医学科 山口智先生

②「脳卒中に対する鍼灸治療」

埼玉県鍼灸師会監事 アロール鍼灸院 河原保裕先生

③「腰部脊柱管狭窄症に対する鍼灸治療」

現代医療鍼灸臨床研究会理事 新潟医療福祉大学 粕谷大智先生

④「経絡経穴の科学」

筑波大学理学療法科教員養成施設 和田恒彦先生

17時 閉会

参加費:埼玉鍼灸学会会員・埼玉県鍼灸師会会員 2,000円、

埼玉県鍼灸師会育成学生 無料、

一般学生(大学院生・教員養成科) 500円、

関連団体 3,000円(関連団体:全日本鍼灸学会、日本鍼灸師会、

現代医療鍼灸臨床研究会、明治国際医療大学同窓会、たにには会、

研友会、埼玉医大OB・OG会、埼玉県鍼灸マッソージ師会)

一般 5,000円

参加申込:QRコードまたは

URLからお申し込みください

<https://mosh.jp/Saishinkai/home>

お問合せ:埼玉鍼灸学会事務局 ssam.jimukyoku@gmail.com

※本講習会は(公財)東洋療法研修試験財団・生涯教育研修制度認定

講習会です。

※(公社)全日本鍼灸学会の認定研修会(認定ポイント3点)です。



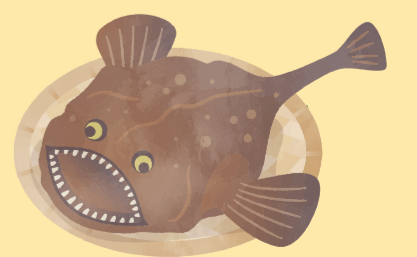
旬の食べ物を食べて元気になるう!

今回の旬の食べ物は「鰾鰻(アンコウ)」です。アンコウは、骨・あご・眼球以外のすべての部位を食べることができる、捨てる場所がない魚です。部位によって違う味と食感が楽しめ、淡白でコラーゲンたっぷりなのに低カロリーです。

水深100m以上の海底に生息する深海魚で、体の表面にウロコがなく、身がぬるぬるしています。そのためまな板の上で切ることが難しいので、「吊るし切り」という独特の方法でさばかれています。

アンコウといえば鍋が有名ですね。アンコウの食べられる部位を「七つ道具」と言い、①肉(柳身)②肝③水袋(胃袋)④布(卵巣)⑤エラ⑥ヒレ⑦皮のすべてを鍋に入れて食べます。

アンコウには次のような栄養が多く含まれています。「コラーゲン」皮膚・骨・目の老化防止。血管を丈夫にする効果があります。「ビタミンA」目のビタミンとも呼ばれ、視覚の正常化に働きかけます。「ビタミンE」老化現象の進行を抑制する働きがあります。「タウリン」血圧やコレステロールの低下、心臓の機能強化や動脈硬化、脳卒中の予防に効果的です。「EPAやDHA」コレステロール値を下げ、血栓予防に効果的です。「鉄、亜鉛、銅」貧血予防に重要な役割を果たします。「ビタミンD」骨を丈夫にして骨粗しょう症を防ぎます。アンコウの産地は茨城県の大洗が有名です。少し足を伸ばしてアンコウ鍋を食べに行ってみてはいかがでしょうか?



協賛各社
(順不同)

医道の日本社・ホシノ医療器株式会社・ヨシダ商事・アフラック募集代理店 株式会社むらた・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ